

年 頭 所 感

令和2年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げますとともに、旧年中に賜りましたご厚誼に心より厚く御礼申し上げます。

昨年の我が国経済は、当初こそ緩やかな拡大基調を持続しておりましたが、米中貿易摩擦問題や消費増税の影響に関する不透明感等から、後退懸念が台頭するなかで、本年を迎えるに至りました。

こうした状況にあつて、本所のコメ先物市場は、昨年8月の試験上場期間満了時におきまして、残念ながら本上場には至らず、さらに2年の延長に甘んじることとなりましたが、開始来、10年の節目を数える来年夏に向けての捲土重来を期しまして、諸課題に全力で取り組んでいるところです。

特に、生産者を中心とした市場参加者の裾野をさらに広げますとともに、取引量の拡大をはかりますことで、より高度な市場機能を提供することを目指し、あらゆる挑戦を行う決意のもと、本年を改革の年と位置づけ、各種事業活動を展開して参る所存です。

具体的には、生産者、卸業者、外食産業といった米穀関連事業者の皆様方に向けて、より実践的な先物取引の活用方法をご提案する等の啓蒙活動を展開いたしますとともに、利便性の高い市場環境を整えるためのマーケット・メイカー制度の充実をはかって参ります。

また、既存銘柄における商品設計の見直しや新規銘柄の追加につきまして、早期実施を前提とした柔軟な検討をすすめて参りますとともに、新たなニーズに即したこれまでにない商品の検討や米穀以外の上場商品における抜本的な商品設計の見直しに着手する等、農産物先物市場の再構築を目指して参ります。

さらに、こうした営業活動や市場改革をより効果的なものとして展開するにあたっては、ベースとなる組織運営が最も重要であることから、会員各位のご理解とご協力のもと、強固な財務基盤、迅速な意思決定及びガバナンスの効いた経営体制への革新を目的とする株式会社組織への早期移行を目指して参ります。

加えて、外部有識者による諮問機関を設置し、短期的な課題のみならず、中期

的な展望に基づいた本所の運営戦略につきまして、今春を目途として取り纏めていただき、答申内容に沿った各種対応に鋭意取り組んで参る所存でございます。

最後になりますが、本年が商品先物市場飛躍の年となりますよう祈念いたしますとともに、皆様方の益々のご繁栄とご健勝を心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和2年 元旦

大阪堂島商品取引所
理事長 岡本 安明